

はじめに

尾道市立大学の地域総合センター 2014年度センター叢書の挨拶を2015年の3月末に書いている。一気に春の気配のおとずれを感じるあたたかで穏やかな日で、明後日は新入生の入学式である。最近の学生は、はじめての一人暮らしを経験するのは楽しいと思うより不安になる学生が多いと聞いている。新入生にお勧めは、尾道の市街地に出て散歩をしながら、観光気分で歩いてみてはどうかといつもおもう。

しかし尾道で平和な感覚を抱いて生活をしていたのが、今年度は日本中が天候不順で大きな災害などが各地で起こった。こんなに国内外で天変地異が起こり、武器を持ったテロが無抵抗の人々をターゲットに殺傷し、世界遺産や文化財を破壊したりしている。もちろん戦争には大反対である。

今から約40数年前、東京の丸の内東アジア反日武装戦線による無差別爆弾テロ事件が起きている。当時は学生紛争やデモが数年に及んで、東京の大学ではまともに授業ができなかった大学も数多くあった。お茶の水の歩道のレンガをはがし、デモ隊の学生たちが機動隊に投石した。翌日にお茶の水に行ってみると橋のたもとの交番はグシャグシャに破壊され、駿河台下への大通りの路上では横転した車から煙がくすぶっている光景を目にした。その1年後、私の通っていた大学にも学生デモ隊が侵入してきた。美術学部の敷地内にある「正木記念館」というレンガ造りの文化財、しかもその中に他の文化財が収蔵されている、その建物を占拠してしまった。しかも占拠する前に校庭にあった明治期の大きな美しいガス灯の手吹き硝子部分を割って記念館を占拠したのだ。角材を持って、ヘルメットをかぶり、手ぬぐいで覆面というのが学生たちの姿である。その角材でガス灯を破壊した行為が我々在学生の怒りの連鎖を生んでしまった。その結末は夕刻にきた、我が大学の怒れる在学生在が建物を幾重にも取り囲み、全員が「文化財を破壊したお前達は許せない、二度と建物から出られないからな……」と叫びだした。そこから白旗が出てくるまでに長くはかからなかった。なぜかと言うと、美術学部の学生たちの方が、よほど作業着でうす汚く、髪も伸び放題で野生的に見えたからであった。デモ隊の学生全員がヘルメットやマスクを取り、角棒を置いて、うなだれて謝りながら1列になって降参して出てきたのを覚えている。

世界ではそうはいかない事は分かっている。しかし、日本も含めて世界の大国は、数千年にも渡って文化を築き上げたこの美しい大地を守り、より住みやすい環境を維持していかなければならない。世界が一丸となってこの星をまもって、科学がもっと進化して汚染のない元の地球に戻れる日を目指すのが人間という個体の宿命である。これから社会に出て活躍する学生のためにも望みは捨てないでいよう。

尾道市立大学地域総合センター長
稲田 全示

目 次

はじめに	稲田 全示	1
尾道文学談話会について.....		4
平成25年度尾道文学談話会		
第一回 志賀直哉の旅—尾道—	寺杣 雅人	5
第二回 志賀直哉の旅—城崎—	寺杣 雅人	5
第三回 姥捨山伝承のいろいろ	藤井 佐美	6
第四回 絵で読む『百人一首』	藤川 功和	6
第五回 逆さ絵の謎—裏の文脈を読む—	藤沢 毅	7
第六回 英語で読む小泉八雲の松江	平山 直樹	7
第七回 志賀直哉の旅—松江—	寺杣 雅人	8
第八回 千光寺山の歌碑を読む	寺杣 雅人	8
第九回 リドルストーリーについて	光原 百合	9
第十回 昔話の登場人物—潜在的印象の分析	塚本 真紀	9
第十一回 古代都市・尾道をさぐる	児玉 康兵	10
第十二回 志賀直哉の旅—赤城—	寺杣 雅人	10
平成26年度尾道文学談話会		
第一回 志賀直哉「或る親子」を読む	寺杣 雅人	11
第二回 室町時代のことば—幸若舞曲—.....	村田 正英	11
第三回 藁しべで得たモノ	藤井 佐美	12
第四回 百花繚乱!!百人一首—緑亭川柳の世界—	藤川 功和	12
第五回 石川啄木の釧路時代	川田 一義	13
第六回 15世紀イギリスの家族の生活	平山 直樹	13
第七回 尾道で怪談を書く	光原 百合	14
第八回 王朝の歌人—清少納言—	岸本 理恵	14
第九回 真田幸村のはなし	藤沢 毅	15
第十回 歳神を迎える頃	藤井 佐美	15
第十一回 共感覚的表現を考える	塚本 真紀	16
第十二回 大林映画を語る	寺杣 雅人	16
尾道市立大学教養講座について		
平成25年度尾道市立大学教養講座.....		
第一回 尾道市立大学が尾道市に与える経済効果	井本 伸	18
第二回 和泉式部集から読み解く本当の和泉式部	岸本 理恵	19

第三回 「場」と「美術活動」～尾道の事例を中心に～	…小野 環	20
第四回 ロマン主義絵画へのいざない―描かれた愛と死の物語を読む	西嶋 亜美	21
第五回 組織とリーダーシップ	……………櫻田 貴道	22
第六回 広島をめぐる言葉たち	……………柴 市郎	23
平成26年度尾道市立大学教養講座		
第一回 アベノミクスと我が国の経済・社会の動向	……………大野 太郎	24
第二回 漱石の自筆原稿で読む『坊っちゃん』	……………柴 市郎	25
第三回 日本絵画 鑑賞の愉しみ	……………市川 彰	26
第四回 江戸時代の尾道と雲州御屋敷	……………森本 幾子	27
第五回 電鉄産業を基軸（核）としたビジネスの展開	……………西村 剛	28
第六回 行友李風『巷説化鳥地獄』を読む	……………藤沢 毅	29
公開講座について	……………	30
教員ワークショップ		
絵巻物鑑賞ワークショップ「ひもとき、ひらく平治物語絵巻」	……………	31
オブジェ制作ワークショップ「Onomichi Dockyard CRANE ～クレーンを作る～」	……………	32
美術講座		
古典模写の体験「鳥獣人物戯画」	……………	34
コンピュータ公開講座		
平成25年度コンピュータ公開講座		
予定帳を作る	……………高岡 陽	36
表計算ソフトとプログラミング	……………有吉 勇介	37
平成26年度コンピュータ公開講座		
表計算ソフト（Excel）を使って○×ゲームを作ろう	……………本田 治	38
マークを作ろう	……………高岡 陽	39
公開研究発表会		
藤井研究室公開研究報告会 道成寺縁起絵巻を読み解く―安珍・清姫伝説を追って―		
藤井研究室・尾道市立大学伝承文化研究会	……………	40
出張講座		
平成25年度 第一回 出張講座 因島のカラス神事―宮島と熊野を結ぶ祭祀―		
第二回 出張講座 瀬戸内海のカラス神事	……………	41
付録：出張講座 論文 尾道市因島の御鳥喰神事―三社の祭祀を中心に―		
栢木 希望（尾道市立大学大学院 日本文学研究科修了生）	……………	59